

録音ガイド

USB接続オーディオキャプチャー
AD-USB2

オーディオキャプチャーソフト「DigiOnSound X C.E. for I-O DATA」を使い、パソコンで音楽を録音する手順について説明します。

B-MANU202364-01

Step1 ソフトウェアをインストールする

1 ① Webブラウザで
<https://ioportal.iodata.jp/>にアクセス



② メールアドレスとパスワードを入力
③ [ログイン]をクリック

初めてご利用いただく場合は、新規会員登録をお願いします

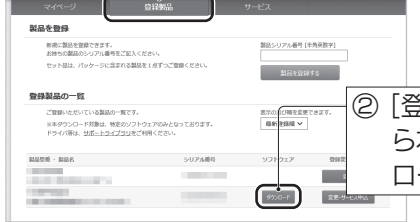
- ① [新規会員登録へ]ボタンをタップ
- ② メールアドレスを入力し、[この内容で送信する]をタップ
⇒ 会員登録用URLのメールが届きます。
届いたメール内にあるURLをタップし、会員登録をおこなってください。会員登録後は、マイページにログインします。

2 ① [登録製品]をクリック



② 本製品底面に記載のシリアル番号(S/N)を入力
③ [製品を登録する]をクリック

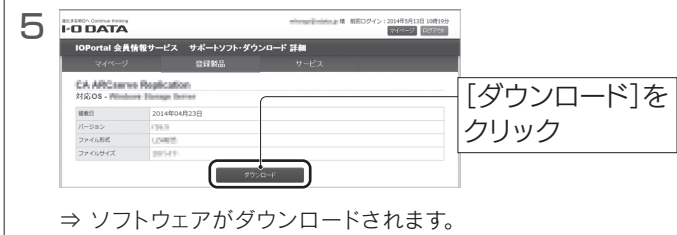
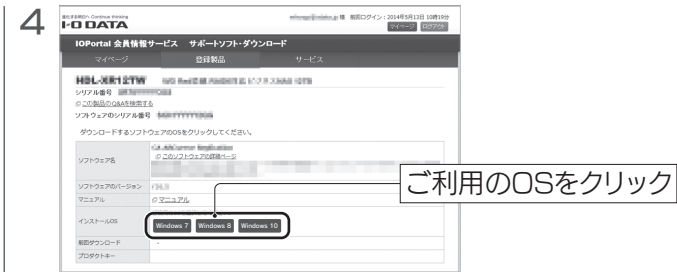
3 ① [登録製品]をクリック



② [登録製品の一覧]から本製品の[ダウンロード]をクリック

録音の流れ

1. 「DigiOnSound X C.E. for I-O DATA」をインストールする
2. 本製品をつなぐ
3. パソコンのオーディオデバイスを設定する
4. 「DigiOnSound X C.E. for I-O DATA」で録音を開始する



6 エクスプローラーなどからダウンロードしたファイルのある場所(ダウンロードフォルダー等)を開く

7 ダウンロードした[DigiOnSoundX-CE_for_IO-DATA.zip]を解凍する

8 解凍してできた[DigiOnSoundX-CE_for_IO-DATA]フォルダーを開き、[setup(.exe)]をダブルクリックする

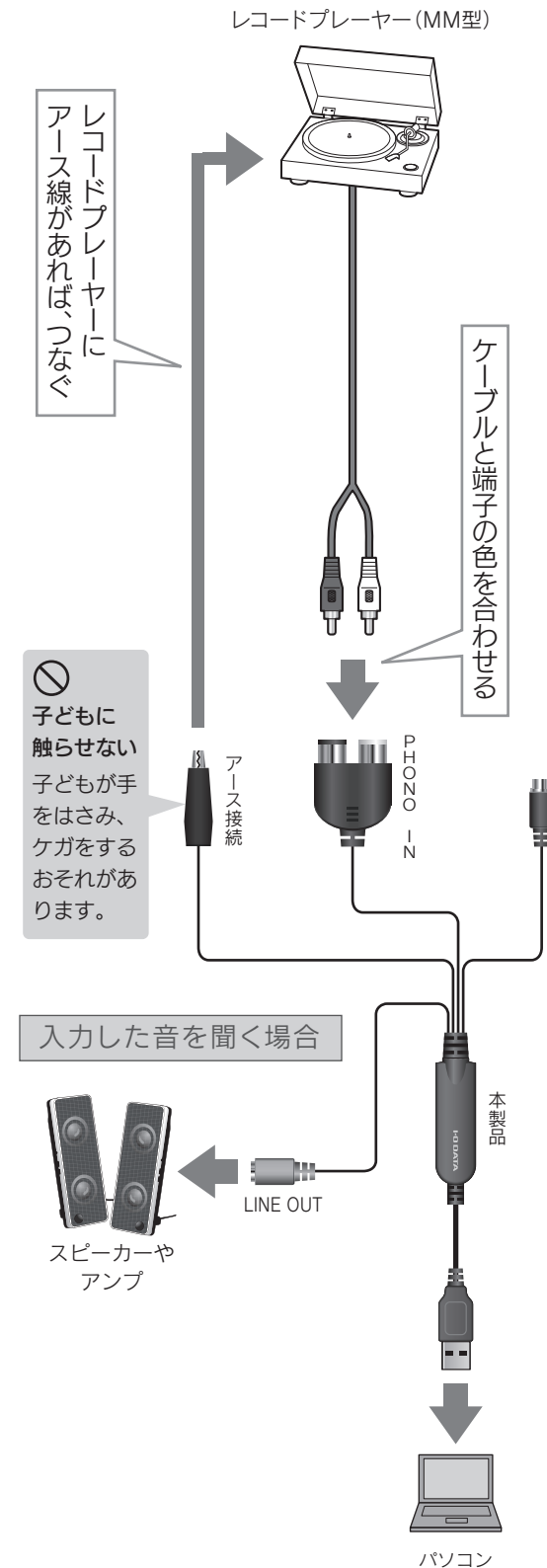
9 画面の指示にしたがってインストールする

以上でインストールは完了です。

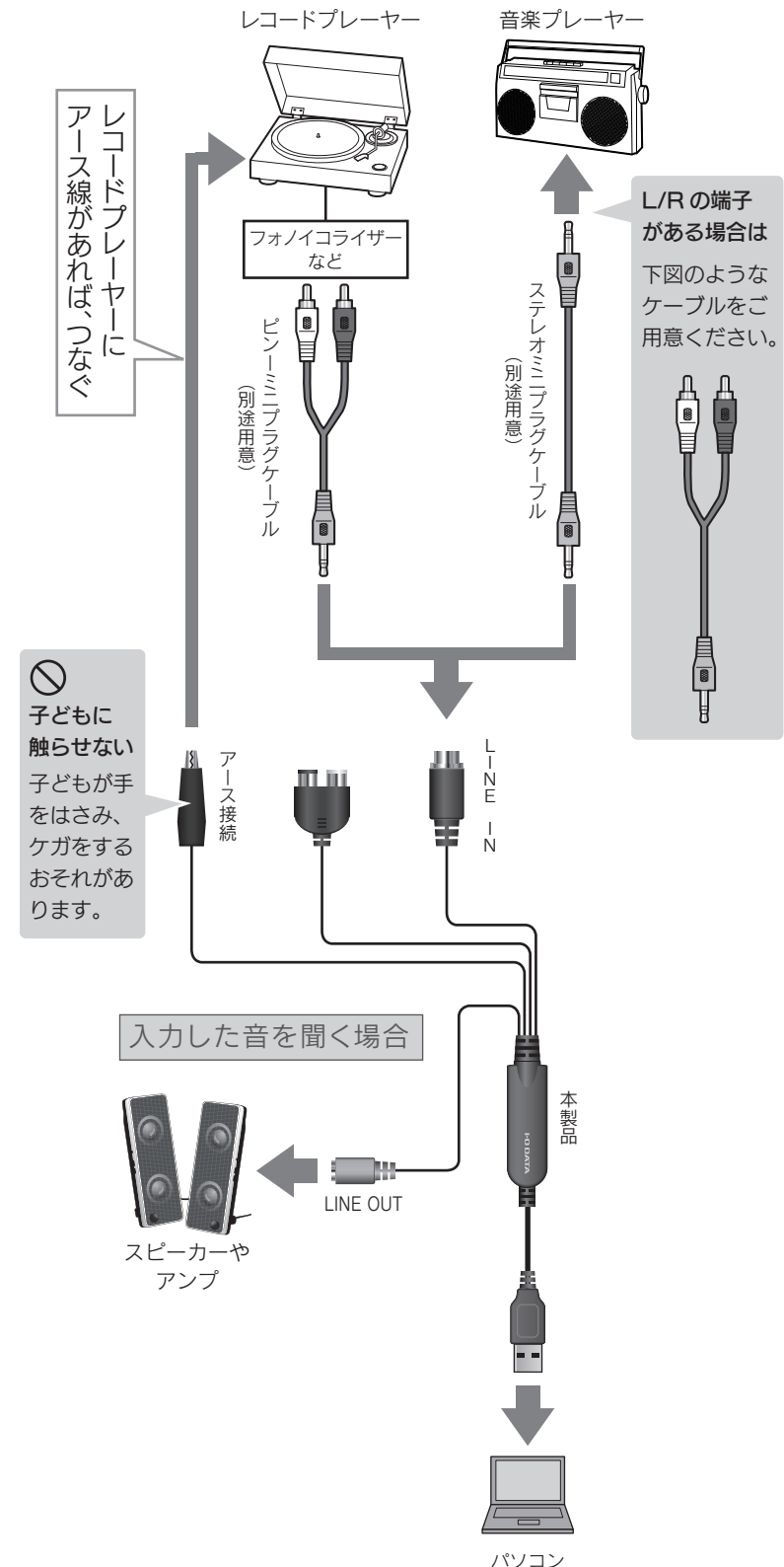
Step2 つなぐ

本製品をオーディオ機器とパソコンにつなぎます。オーディオ機器とは、PHONO IN端子かLINE IN端子どちらかです。以下は、接続例です。

PHONO IN端子とつなぐ場合



LINE IN端子とつなぐ場合



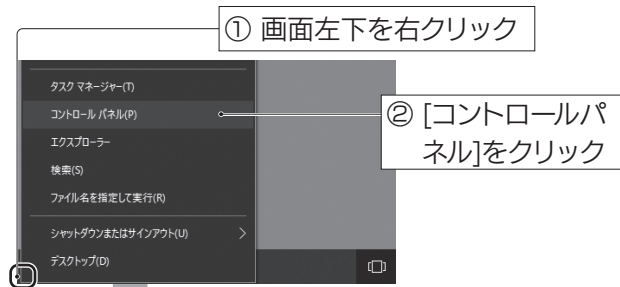
レコードプレーヤーにつなぐ場合、以下を確認する

- レコードプレーヤーにライン端子がある場合、ステレオミニプラグケーブル(別途用意)で、本製品のLINE IN端子につないでください。
- レコードプレーヤーにアース線がない場合、アース接続端子には何もつながないでください。
- PHONO IN端子につないだ後にスピーカーやアンプにつないでください。PHONO INにつなぐ際には、大きな雑音が出ます。

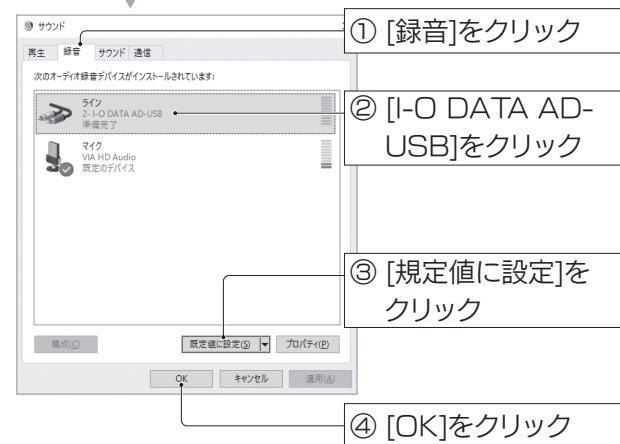
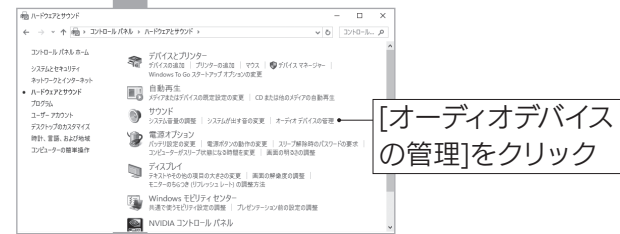
Step3 オーディオデバイスを設定する

1 本製品をパソコンにつなぐ

2 パソコンのオーディオデバイスを本製品に設定する



※ Windows 7の場合
[スタートボタン]→[コントロールパネル]の順にクリック

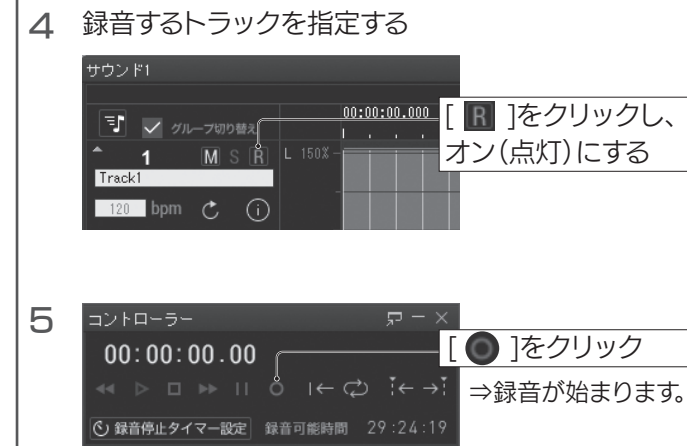
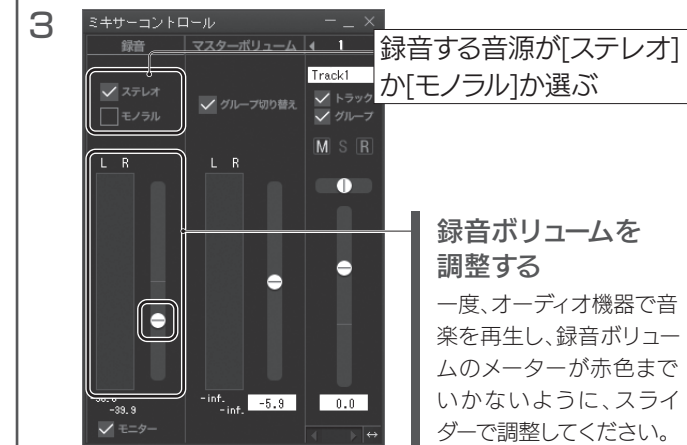


Step4 録音する

本製品に入力した音楽を、パソコンに録音します。

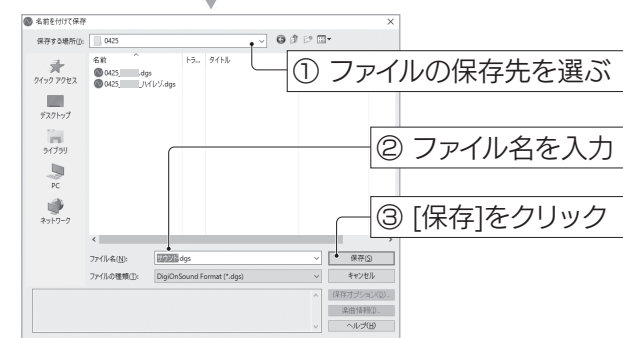
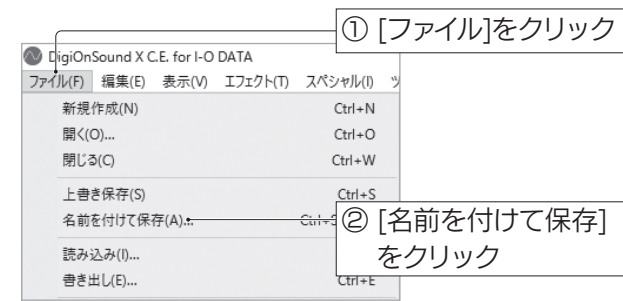
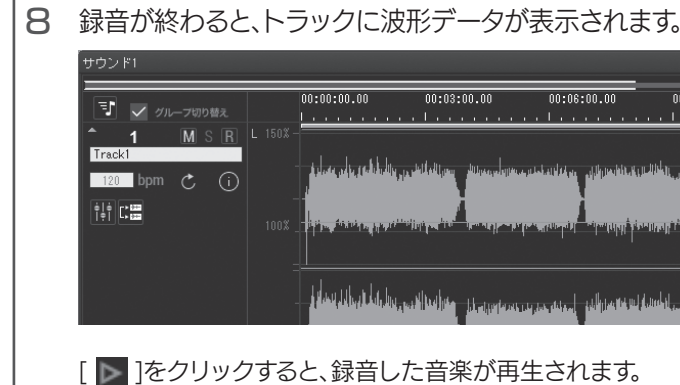
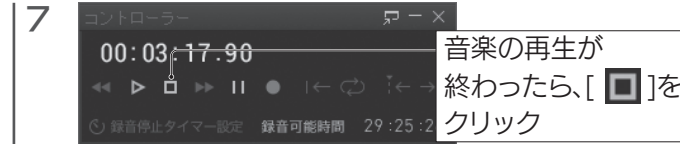
録音した音楽ファイルの形式について

録音した音楽は、DGS (DigiOnSoundファイル形式) で保存されます。DGSファイルは、DGSに対応したソフトウェアでしか扱うことができません。保存したDGSファイルを必要に応じて編集(曲分割・曲情報の取得)し、一般的な音楽ファイル(WAVなど)に書き出します。



6 オーディオ機器で音楽を再生する

※ 録音中はトラックに波形は表示されません。
[ミキサーコントロール]の[録音]の値が動いている場合、正しく音楽が入力されています。



つづけて次の録音をする場合は、手順2からおこないます。

以上で、録音は完了です。

録音した音楽の書き出し、曲分割、曲情報の取得方法
別紙「活用ガイド」をご覧ください。

困ったときには

○取り込んでいる音声がかえらない
本製品は、録音しながらパソコンで音声を再生することはできません。本製品の LINE OUT にスピーカーをつないでください。

○録音したのに、保存されたファイルの音声がかえらない

- 本製品は正しくつながられていますか確認してください。
- PHONO IN で取り込んでいる音声がかえらない場合、LINE IN に何かつないでいないかご確認ください。LINE IN に何かつないでいると、そちらが優先されてしまいます。
- パソコンのオーディオデバイスが本製品に設定されていますか? 【Step3 オーディオデバイスを設定する】を参照し、[I-O DATA AD-USB]を選んでください。
- 音声は入力されていますか? 「ミキサーコントロール」の値が動かないかご確認ください。値が動かない場合は、以下をご確認ください。
 - ・オーディオ機器と正しくつなげられているか?
 - ・オーディオ機器の音量が0になっていないか?
- ほかのアプリケーションの音は聞こえますか? Windowsのボリュームが小さくなったり、ミュートになっていないか確認してください。
- パソコンにスピーカーやヘッドホン等がつながっていますか? つながっていない場合、スピーカーなどをつないでください。その後、一度アプリケーションを終了し、もう一度起動してください。

○レコードプレーヤーから録音した音が大きい
レコードプレーヤーによって、つなぎ方を変えてください。

- ライン端子が搭載されているレコードプレーヤーの場合、本製品のLINE INにつないでください。
- ライン端子が搭載されていないレコードプレーヤー(MM カートリッジ)の場合、本製品のPHONO INにつないでください。

○レコードプレーヤーから録音した音が割れる
[ミキサーコントロール]パネルで、録音ボリュームが赤色にいかないように、スライダーで調整してください。

○LINE OUT につないだヘッドホンから大きな音がする
LINE OUT にヘッドホンをつながないでください。LINE OUT はヘッドホン用の仕様ではないため、ヘッドホンをつなぐと大きな音がしてしまいます。

○雑音が発生する

- 製品の周りには、ノイズ源となる電化製品を置かないでください。PHONO IN にはフォノイコライザーが内蔵されており、入力感度高く、音声信号を大きく増幅する動きがあり、雑音が発生しやすくなっています。
- つなぐパソコンからノイズを受けることがあります。ノートパソコンの場合、ACアダプターを外すことで雑音小さくなる場合があります。
- ラジオを本製品につないでいる場合、ラジオ、本製品、パソコンの設置位置によっては、雑音が発生することがあります。それぞれを離して設置するなど、雑音が小さくなるようにしてください。